

平成 25 年度 いきいき健康プランにっしん 21 第 1 回推進委員会議事録

日時：平成 25 年 7 月 29 日 月曜日 午後 2 時から午後 3 時 35 分

会場：日進市保健センター 2 階会議室

出席者：＜委員＞

大澤功(愛知学院大学心身科学部健康科学科 教授)、早川真人(東名古屋医師会 日進支部代表者 医師)、塚本有里(前日進市教育委員)、中井英貴(愛豊歯科医師会 日進支部代表者 歯科医師)、藤原薫(日進市薬剤師会 代表者 薬剤師)、波多野了(荒川工業株式会社 代表者)、大野忠夫(日進市ボランティア連絡協議会 代表者)、亀井千代子(日進市食生活改善推進委員会 代表者)、齋藤信子(日進市運動普及推進員 代表者)、深津いさ子(日進市スポーツ推進委員 代表者)、鈴木義尊(日進市老人クラブ連合会 代表者)、鶴飼佳代子(愛知県瀬戸保健所 健康支援課長)、桑山一男(尾三消防本部日進消防署 予防課長)、林輝夫(市民代表)、伊藤日奈子(市民代表)

＜その他＞

次期計画策定業務委託業者 アシスト株式会社 宮澤史明(名古屋営業部)、水谷宏子(名古屋営業部)

＜事務局＞

梅村光俊(市民生活部担当部長)、倉知朋範(健康課長)、小塚多佳子(健康課主幹)、伊東あゆみ(健康課保健企画係・母子保健係課長補佐)、稲吉新平(健康課保健企画係長)、榊原裕美(健康課保健企画係管理栄養専門員)、近野友美(健康課保健企画係主査)、佐々木真梨江(健康課保健企画係保健師)

欠席者：＜委員＞

小室勢子(日進市立日進中学校 養護教諭)、秋田ゆかり(市民代表)

(順不同)

傍聴の可否：可

傍聴者の有無：無

＜議事＞

事務局：開会のあいさつ及び、傍聴者の確認

傍聴者なし

事務局：委員 1 名の交代と 1 名の増員及び、委嘱書、出席者について説明。それでは、次第により進めさせていただきます。はじめに委員長の挨拶をお願いします。

委員長：あいさつ

担当部長：あいさつ

事務局：次に議題に入ります。議題の進行につきましては、いきいき健康プランにっしん

21 の推進に関する規則により大澤委員長にお願いします。

委員長：本日は多くの資料があり、豊富なデータも出てきます。ご意見をいただく時間が取れないかもしれませんが、ご意見をよろしくお願いします。それでは最初に議題の1「平成24年度推進事業の実施状況及び平成25年度推進事業実施計画（案）」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局：資料No.1-1、1-2に沿って説明。

委員長：ご意見・ご質問はよろしいでしょうか。

委員：意見なし

委員長：続いて、議題2「日進市の現状について（1）アンケート調査から」の説明をお願いします。

事務局：資料No.2-1、2-2、2-3（1）（2）に沿って説明。

委員長：今までのところで意見ををお願いします。食事と運動といった重要なところになります。

委員：「対象者」が、年齢順ではなく、項目ごとにバラバラなため、書き方を統一していただくと見やすいと思いました。

事務局：「対象者」の順番ですが、中間評価時の作成の順番に合わせているので見にくくなっていると思います。今後、記載することがあれば変更していけるようにしたいと思います。

委員長：確認ですが、例えば（1）栄養・食生活で成人と記載があるものは、成人のデータ全てということですか。かなり幅広い年齢層になりますね。

委員：身体活動・運動について、対象者の「成人男性」と「60歳以上」は、別の集団ではなく、「成人男性」のうち「60歳以上」を選んで集計したものを載せていますか。

事務局：そうです。指標として、当初策定時に、何を指標とするか検討して成人のうち60歳以上を指標とすることにしたため、60歳以上だけをピックアップして集計し直した値となっています。

委員：この「成人男性」「成人女性」は60歳以上も含まれているということですね。さらに、別枠で60歳以上だけをピックアップしている。それは良いと思いますね。高齢者の医療費の増加を抑えることにつながります。

委員長：他に何かありますか。

委員：資料No.2-2の判定区分についてですが、「改善」の方が「概ね改善」より良く思えますがいかがでしょうか。

また、食のところで、「自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加」とありますが、この「思う人」というのは、割と改善意欲は高いと思われます。自分の食生活に問題があると思う人は、本当に問題がある人なのかという点と、その中の意欲がある人以外で問題があると思わなくても意欲のある人もいると思いますので、主観的な部分なのかどうかについて教えてい

ただきたいと思います。

事務局：統計上の判定について「概ね改善」と「改善」の表現については、調査後、不都合があれば変更し、その意味を正しいものにしたと思います。また、食生活のご指摘ですが、目標を「自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加」と定めていますが、アンケートからは問題があってもなくても改善意欲があるかどうかだけを表しています。

委員：「判定区分」ですが、A+、AとB+、B-の+-のつけ方について統一した法がよいと思います。

委員長：いろいろと議論はありますが、研究ではないので、行政として方針を決めていただければと思います。先ほど判定区分の表現についてですが、変えたほうがよいと思います。

続きまして(3)からお願いします。

事務局：資料No.2-3(3)から(6)に沿って説明。

委員長：ここまでで何かご質問ありますか。

事務局：資料No.2-3(7)から(9)に沿って説明。

委員長：ここまでで何かご質問ありますか。

事務局：資料No.2-4に沿って説明。

委員長：資料No.2-4を読めば、データから読み取れる内容が分かるということですね。何かご質問・ご意見ありましたらお願いします。

(9)の救急救命措置ができる人の増加に関連した話ですが、5月に大学の部活動中に事故が起きましたが、学生とコーチの連携により救急措置を行ったという出来事がありました。

委員：平成7年から応急手当の普及啓発事業が始まり、応急手当の重要性が認識され、一般の方がAEDを使用し心拍再開されて社会復帰される例も最近増えてきました。市内におきましては、中学校の2年生全員が授業の一環で、私どもが3時間指導しておりますので、お役に立っているのではないかと思います。この間も、スポーツセンターでAEDを使用し助かった事例がありました。これからも地域のお手伝いになればと思い、講習等も実施させていただきますのでよろしくをお願いします。

委員長：ありがとうございます。続きまして、(2)その他データ分析からの説明をお願いします。

事務局：資料No.3に沿って説明。(スクリーン使用)

委員長：ご質問やご意見あるかと思いますが、計画の方に移りたいと思います。よろしくをお願いします。

事務局：(3)次期計画について説明。(資料なし、スクリーン使用)

事務局：資料No.4に沿って説明。

委員長：全体の方針はこれでよければ承認いただき、細かい点につきましてはこれから検討や確認をしていきたいと思えます。この場で何かご意見あればお願いします。

委員：QOL やソーシャルキャピタルといった専門用語が多く、理解しにくいと思えますので、括弧書きするなど工夫していただくと良いと思えます。

委員長：最近の日本の行政全体の問題点ですね。

委員：にっしん体操ですが、DVD を使えない方もいらっしゃるのでは、紙に絵が描いてあるものがあると普及できると思えます。日進市は介護支援に対してとても良いからと、移り住む方もいると聞きます。それだけ日進市は住みやすく人気が高いのだとデータを見て思いました。また、元気な人ほどいくつか病院へ行けるのではと思いました。

委員長：膨大なデータをよくまとめられています、今一度市民の立場に立っているいろいろな考えていく必要があると思えました。後はよろしいでしょうか。

委員：スポーツ指導をしています、先ほど言われたにっしん体操のプリントはあります。私も頂いて、それをコピーして配っています。

委員：平成 14 年度の当初の計画策定時から関わらせていただいている市民代表です。第 2 次に入るわけですが、サッカーで言いますと、この 10 年間は予選リーグを戦ってきて、いよいよワールドカップのピッチに立ったなという感じで、非常に充実した計画になるのではないかと感じて楽しみにしております。

委員長：細かいデータになっておりますが、行政としてはアンケート等で市民に迷惑をかけておりますので、それをお伝えしようといったことでこういった内容になっていると思えます。今後もいろいろと大変なことはありますが、計画の素案をつくり、一般の方に意見を聞くパブリックコメントもあるということで楽しみにしております。また、この委員会も開かれる予定ですのでお願いします。

事務局：貴重な意見をいただきましてありがとうございます。今後、内容を検討させていただきます、素案を作成し、スケジュール表にも示しましたように 11 月ごろに次回委員会を開催します。また、委員長が言われましたように 2 月にはパブリックコメント後の最終的な会議を予定していますので今後ともよろしく願いいたします。

委員長：それではこれで終わりとします。お疲れ様でした。ありがとうございました。

(午後 3 時 35 分終了)